令和５年度
二戸市立福岡中学校
学校だより　第７号

永遠の躍進

発行日：Ｒ０５．０６．０１
発行者：校長　筒井　裕一
二戸市福岡字下川又 22－１
☎２３－３３２５

学 校 教 育 目 標　**意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】**

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】　**剛健で実践力のある生徒【実践力】**

中学生らしい家庭学習をめざして　～最終回～

今回は下の図の中の「**どうやってこの視点をもたせるか**」についての本校の考えをお伝えします。

☆「パスが上手になるためにパス練習をする」

どうやってこの視点をもたせるか

⇐ なぜパスがうまくなる必要があるのか
⇐ パスがうまくなって何をしたいのか

これを考えることで、☆程度だった目的意識が☆☆レベルになる

☆☆「カウンター攻撃ができるようになるためにパス練習をする」

バスケットボールやサッカーにおいて、上の図の［　］のような視点を駆使して考えを進める場面は、試合後のミーティングや反省会、あるいは「バスケットボールノート」「サッカーノート」を記入する時です。つまり、試合の記憶が冷めないうちに、その試合運びなどをもとに、どうすればよかったのを深く考えようとしたときに、［　］のような視点を働かせます。

学習についても同じだと考えています。単元テストや期末テスト、実力テストが終わった後、まだ記憶が新しいうちにきちんと振り返る。何ができて何ができていないのか。どう解答すればよかったのか。そう解答するために、テスト勉強で何をしておけばよかったのか。などなど、きちんと振り返る。生徒の様子を見ていると、**テスト後は点数にばかり目が行きがちで、こうした振り返りをきちんとしていない**。ここを改善し、振り返りの場面で教師から適切な助言を与えていけば、徐々に上の図の［　］のような視点をもった生徒に育っていくのではないか。我々はそのように考えています。

そこで、**今年度はテスト後の指導に力を入れる**ことにしました。**テスト勉強とテスト結果を比較しながら、自分の課題は何か、何に取り組めばいいのかについて、じっくりと考えさせ**ます。これを**テストの度に繰り返して行っていけば**、徐々にテスト結果の分析技能も高まり、**取組と目的の合致度が増す。合致度が増すから成果も出やすくなる。自ら考えた内容に、目的意識をしっかり持って日常的に取り組むことで、家庭学習への主体性も喚起できる**。このようにして今年度は、家庭学習のレベル強化を図っていこうと考えています。